

自然と関わる人、ものをつくる人、暮らしを大切にする人。
ものづくりを通して、人と森とのかかわりを一緒に考えてみませんか？

森と

令和元年度海上の森アカデミー
里山暮らしコース

暮らしをつなぐ

ものづくり

この講座ではどんなことを学べるの？

里山の話と薪割り

～ 里山の現状と新たな取り組み ～

季節の植物を使った草木染め

～ 暮らしに組み込む自然の魅力 ～

やきものの野焼き

～ 人の生活と里山の関わり ～

グリーンウッドワーク

～ 木を使ったものづくりの可能性 ～



<開催日時> 全6日間

令和元年 11月30日(土)

12月1日(日)、14日(土)、15日(日)

令和2年 1月18日(土)、2月8日(土) 9時30分から15時30分まで

<定員> 10名 (全日程参加できる方を優先します)

(12月15日(日)のみ9時30分から正午まで)

<参加費> 無料 (ただし、保険料及び材料費として1,000円程度が必要です)

<場所> 海上の森 及び 愛知県陶磁美術館

炭や薪といった燃料が電気へと置き換わり、便利な物が溢れる現代。人が暮らしのために山に入る必要性は薄れてきています。しかし、そんな今だからこそ、里山には人と自然をつなぐ大切な役割があるのではないのでしょうか。この講座では、「森と暮らしをつなぐものづくり」をテーマに、里山の魅力や資源活用の可能性について学びます。これをきっかけに、仕事や趣味、地域でのボランティア活動など、様々な形で里山との関わりを深めていきましょう。

この講座の
目指すところ



第1回 令和元年11月30日(土) 「薪割り」

里山をめぐる状況や間伐材の薪利用の話聞いた後、木を倒して薪割りを行います。

講師：高野 雅夫さん(名古屋大学大学院環境学研究科 教授)
唐澤 晋平さん(一般社団法人奏林舎 代表理事)

第2回 令和元年12月1日(日) 「やきもの①」

愛知県陶磁美術館で瀬戸の里山とやきもの関係を学び、土をこねて作陶します。

講師：佐藤 一信さん(愛知県陶磁美術館 学芸課長)
島田 篤さん(陶芸家)
鯉江 明さん(陶芸家)

第3回 令和元年12月14日(土) 「やきもの②」

野外でドーム型の窯を作り、現代風「野焼き」によってやきものを焼き上げます。

講師：佐藤 一信さん、島田 篤さん、鯉江 明さん

第4回 令和元年12月15日(日) 「やきもの③」

前日に焼き上げたやきものを窯から出し、鑑賞会をします。 <午前中のみ>

講師：佐藤 一信さん、島田 篤さん、鯉江 明さん

第5回 令和2年1月18日(土) 「草木染め」

ヤシャブシの実を染料とし、板締めで手ぬぐいをモダンな柄に染め抜きます。

講師：唐澤 萌さん(染織家)

第6回 令和2年2月8日(土) 「グリーンウッドワーク(木工実習)」

森から伐り出してきた生の木を使い、ナイフ1本で「マイ箸」を作ります。

講師：加藤 慎輔さん
(大同大学プロダクトデザイン専攻 技術員・グリーンウッドワーク協会会員)

<申込方法> 令和元年11月5日(火)締め切り(必着)

所定の申込書を郵送、メール、FAX又は持参にてご提出ください。

受講の可否について、11月12日(火)までに応募者全員に通知します。

- ※ 申込書はWebページからダウンロードするか、県施設・図書館等で配布しています。
- ※ 応募者多数の場合は、県内在住、在学、在勤の方、または県外にお住まいで県内において里山保全活動等を継続的に実施している方を優先します。

【提出先】あいち海上の森センター(☎0561-86-0606)

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

メール：kaisho@pref.aichi.lg.jp FAX：0561-85-1841

【Webページ】<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaisho/01satoyama.html>

★本事業は「あいち森と緑づくり税」を活用しています

